

令和2年 4月 1日

（宛名）野田市議会議長

会 派 名 無所属の会

経理責任者名 谷口 早苗



野田市政務活動費収支報告書

次のとおり平成31年度（令和元年度）野田市政務活動費に係る収入及び支出について報告します。

1 収 入

政務活動費 270,000円

2 支 出

（単位：円）

科 目	金 額	備 考
調査研究費	103,274	行政視察（延岡市、日向市）
研 修 費	9,348	議員研修会
広 報 費	0	
広 聴 費	0	
資料作成費	124	複写機使用料
資料購入費	7,200	週刊新社会
備品購入費	0	
その他の経費	0	
合 計	119,946	

3 残 額

150,054円





## 旅費支出内訳書

会派名 無所属の会

視察日	令和 2年 1月 28日 (火) ~ 令和 2年 1月 29日 (水) 2日間			
視察場所	①宮崎県延岡市 ②宮崎県日向市			
調査事項	① 協働・共汗道づくり事業について ② 日向市駅周辺整備事業について			
参加人員 1人	支出	内 訳		領収書 チケット
	7,180	お土産代 7,180 円		○ №1-1
	1,192	東武アーバンパーク ライン・JR乗車券 ( 野田市 ~ 羽田空港国 内線ターミナ ) 1,192 円 × 1 人		
	37,590	SNA53便 ( 羽田空港 ~ 宮崎空港 ) 37,590 円 × 1 人		○ №1-2
1月28日	1,810	JR乗車券 ( 宮崎空港 ~ 延岡 ) 1,810 円 × 1 人		
	14,800	宿泊代 14,800 円 × 1 人		○ №1-3
小 計	62,572			

①無所属の会

	支 出	内 訳	領収書	チケット
1月29日	480	JR乗車券 ( 延岡 日向市 ) 480 円 × 1 人		
	1,440	J R乗車券 ( 日向市 ~ 宮崎空港 ) 1,440 円 × 1 人		
	37,590	SNA62便 ( 宮崎空港 ~ 羽田空港 ) 37,590 円 × 1 人	○	1-2
	1,192	東武アーバン ( 羽田空港国 ~ 野田市 ) パークライン・JR 乗車券 1,192 円 × 1 人		
小 計	40,702			
合 計	103,274			

領収証

無所属の会様

No. \_\_\_\_\_

★ ¥7,180-

但し 品代とV7

R2年 1月 20日 上記正に領収いたしました

収 入  
印 紙

内訳  
税抜  
金額  
消費税額等  
( %)

株式会社 大 川  
〒278-0037 千葉県野田市  
TEL. 04-7124-2461 FAX. 04-7124-2462



扱者印

領収証

野田市議会  
無所属の会 谷口早苗様

No. \_\_\_\_\_

金額  
¥14,800.-

内訳 1泊泊  
現金  
小切手  
手形

但 宿泊代1泊2食付  
令和2年 1月 15日 上記正に領収いたしました

収 入  
印 紙

消費税額等( %)

内外ツー  
株式会社 内  
〒270-2231 千葉県  
TEL: 047-3



係印

領収証

野田市議会 無所属の会 谷口早苗 様

No. \_\_\_\_\_

金額

¥ 75,180.-



内訳 現金 58,129  
小切手  
手形

但 羽田~宮崎空港往復航空券代

令和2年1月15日 上記正に領収いたしました

内外ツ一

株式会社 内  
〒270-2231 千葉県松

TEL: 047-3

消費税額等 (%)

コウヨウ 内ケ-390

捺印

到着地までお持ちください  
Please do not lose this certificate.

保安検査証  
Security Certificate

タニグチ サナエ 様

搭乗口  
GATE

7

出発時刻の10分前までにお越しください  
Please be at the gate 10 minutes before departure

搭乗順  
Boarding

グループ  
Group 4

座席  
SEAT

7B

中央  
CENTER

1/29 SNA 62便

宮崎  
MIYAZAKI

18:35発

東京/羽田  
TOKYO/HANEDA  
20:10着

タニグチ サナエ 様

1/29 SNA 62便

BN:96 SN:7B ZONE:2

照会番号:CBX2C602 種別:IITX

Solaseed Air

ご搭乗案内  
BOARDING INFORMATION

タニグチ サナエ 様

行先 DESTINATION

宮崎  
MIYAZAKI

搭乗日 DATE

2020年 1月28日

便名 FLIGHT SNA 53

座席  
SEAT

6E

照会番号 CBX2C601

携帯電話の電源はお早めにお切りください。

IITX

BP BZCY6K

BN 132

預金払戻請求書 による振込受付書 振込金受取書 (兼振込手数料受取書)  
預金口座振替

○お振込は手数料が安くて、便利なATMをご利用ください。

ご依頼日 2年 3月 7日	
フリガナ 金融機関名(漢字)を左づめでご記入ください	フリガナ 支店名(漢字)を左づめでご記入ください
お振込先 千葉銀行宛の振込 <input type="checkbox"/> 千葉銀行	銀行 <input type="checkbox"/> 銀行以外の場合は○をお付けください。 信金 <input type="checkbox"/> 信組 <input type="checkbox"/> 農協 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>
お預金種目 該当種目に○をお付けください 1.普通 2.当座 4.貯蓄 9.その他 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	口座番号 右づめでご記入ください <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
お受取人 おなまえ(漢字) 株式会社 地方議会総合研究所 様	金額 拾 億 千万 百万 拾万 万 千 百 拾 円 ¥ 2 0 4 7 2 6
カタカナ カ) 千 ホ ウ キ ム カ イ ソ ウ コ ム ウ ケ ン キ ユ ウ シ ム ヨ	消費税込手数料 ¥ 8 8 0
おご依頼人 おなまえ(漢字) 野田市議会 様	■このお振込は、別途定める当行の「振込規定」によりお取扱いさせていただきます。 ■振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には、照会等のために振込が遅延することがあります。 ■お振込の訂正や組戻しには、別途所定の手続・手数料が必要です。 ■手数料一括契約の場合は、振込手数料(26)を除く受取書として発行させていただきます。 毎度ありがとうございます。野田支店 株式会社 千葉銀行
おところ 千葉県野田市鶴寿7-1	日中ご連絡可能なお電話番号 (04-7123-1730)

② 研修費 NO.1-1, 2 の合計 252,411 円のうち  
政務活動費より 93,484 円支出

預金払戻請求書による振込受付書 振込金受取書 (兼振込手数料受取書)

○お振込は手数料が安く、便利なATMをご利用ください。

ご依頼日 2年 3月 17日	
お振込先	フリガナ [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] フリガナ [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] 金融機関名(漢字)を左づめでご記入ください 支店名(漢字)を左づめでご記入ください
お振込先	<input type="checkbox"/> 千葉銀行宛の振込 <input type="checkbox"/> 千葉銀行 銀行以外の場合は○をお付けください。 信 金 <input type="checkbox"/> 信 組 <input type="checkbox"/> 農 協 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>
お振込先	預金種目 該当種目に○をお付けください 1.普通 2.当座 4.貯蓄 9.その他 口座番号 右づめでご記入ください 金額 拾億 億 千万 百万 拾万 万 千 百 拾 円 ¥ 4 5 9 2 5
受取人	カタカナ カ ) カ イ キ ム ロ 7 セ ン タ ー タ イ ヒ ヨ ウ ト リ シ マ リ ヤ 7 カ ト ウ ノ フ ム ヤ おなまえ(漢字) (株) 会 議 録 セ ン タ ー 代表取締役 加藤 信也 様
依頼人	カタカナ ノ タ ム シ キ ム カ イ おなまえ(漢字) 野 田 市 議 会 様 おところ 千葉県野田市鶴幸7-1 日中ご連絡可能な電話番号 (04 - 7123-1730)

消費税込手数料 円  
¥ 8 8 0

■このお振込は、別途定める当行の「振込規定」によりお取り扱いさせていただきます。

■振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には、照会等のために振込が遅延することがあります。

■お振込の訂正や組戻しには、別途所定の手続・手数料が必要です。

■手数料一括契約の場合は、振込手数料を除く受取書として発行させていただきます。


毎度ありがとうございます。

株式会社 千葉銀行

納印紙  
2-317  
千葉銀行  
野田支店



## 納入通知書兼領収書

住所	千葉県野田市鶴奉 7 - 1					
氏名	無所属の会 様					
年度	01	会計	一般会計			
款	項	目	節	摘要	予算区分	調定番号
21	04	05	01	077	現年度	01062522
金額			124 円			
納期限			令和 2年 3月31日			
内容	複写機使用料 4～3月分 (無所属の会)					
取扱課名 議会事務局						
上記のとおり納入してください。						
令和 2年 3月23日  野田市長 鈴木 有			領 収 日 付 印	上記金額を領収しました。  千葉銀行 野田支店 収納金融機関		

野 田 市

◎資料購入費( № 1 )

領収書

野田市議会 無所属の会 様

金額 7,200 円

週刊新社会年間 2019 年度購読料として

2020 年 3 月 24 日

週刊新社会野田総分局

担当



(先進地視察用)

(別紙5)

令和2年2月10日

野田市議会議長 竹内美穂様

会派名 無所属の会

代表者氏名 谷口 早苗



出張調査報告書

調査のため出張しましたので、その概要を下記のとおり報告します。

記

1 出張者名 谷口 早苗

2 出張先及び調査事項

- ① 宮崎県延岡市 協働・共汗道づくり事業について
- ② 宮崎県日向市 日向市駅周辺整備事業について

3 出張期間

令和2年 1月28日 ~ 令和2年 1月29日

4 調査報告

(1) 延岡市 協働・共汗道づくり事業について

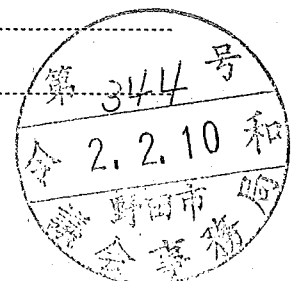
◇ 延岡市の概要と視察地選択の理由

①市制施行 昭和8年 2月11日

②人 口 119,517人(51,679世帯)

③面 積 868.02 km<sup>2</sup>

④視察地選択の理由(市政との関連性)



野田市では道路舗装工事や道路側溝の蓋かけには優先順位があり、早急に施工できない工事が度々ある。市民の皆さんにとっては、普段利用されている道路はいち早く工事が必要なものである。延岡市では優先順位を待たずに共有財産である市道や里道、道路側溝の蓋かけ工事等を対象に地元の皆さんから労働提供を受け、市の職員が支援を行いながら共に汗を流し整備する事業を実施していることから、どの様に行っているのか視察する。

◇ 視察時の状況

①視察時間 午後 1時00分～ 午後2時50分

②視察会場 延岡市役所7階 委員会室

③応対者職氏名 議会事務局次長 松田康寿氏

都市建設部副参事兼土木課長 溝田克弘氏

土木課 道路維持係長 高橋一郎氏

道路維持係 黒田翔太氏

◇ 調査事項の概要

この事業は市民の皆さんが普段利用されている市道や里道、簡易な道路工事、道路側溝の蓋掛工事、市長が認める簡易な改良工事を市職員と市民が共同で行うものである。改良工事に伴う必要な原材料(コンクリート等)や製品(コンクリート製側溝等)は市が提供し、あわせて機械(バックホー等)の器具等の貸し出までも行っていた。また市の職員が地元の皆さんに技術支援を行っていた。対象となる団体は自治会等の組織であり、年間の事業費は約800万円で内訳は、原材料費約720万円(コンクリート、砕石等)、バックホー等機械借上料約77万円、レンタル機材燃料費約5万円である。事業費の推移は年々伸びており、地元の組織が施行することから市が行う工事等より三分の一の安価で早く仕上がり、設計及び見積もりや入札の期間が省けるといふ。また維持管理コスト削減を図る事もでき、自分たちで道を作るこ

とで愛護意識、団結が図れる。一方で市発注工事に比べ品質管理、出来高管理は劣ることがあるという。また市民負担を減らすという観点から書類等の関係で市担当者の事務量が増えることやバックホー等の重機の運転は地元の有資格者に運転してもらうため資格者がいないと施工できないというデメリットもある。

◇ 所 見（市政の課題等に対する実現可能性等）

野田市では簡易道路改良工事、道路側溝の蓋掛等は市が行う工事であり、設計及び見積もり入札により工事が施工されるようになってくる。

そのため、市民の皆さんが普段利用している市道や里道や道路側溝蓋に不便があっても施工までに時間を要する。また市民が日常に支障をきたしていると感じていても道路改良工事には優先順位があり、なかなか進まない状況も見られる。そのような状況を乗り切る為にも地元の方々が簡易な工事であればできるようにしていければ、細かい所は改良され、地元の団結、道路に対する愛護意識が図られ、生きがいを生むことにつながると考えられる。また、市が行う工事等より安価に仕上がる取り組みにより、より多くの要望に応えられることから必要であると感じる。確かにデメリットなどもあるが平成20年度から始まった共汗づくり事業は、怪我もなく進められている。道路の品質、出来高は発注工事に比べ劣る部分はあるが、交通量の少ない場所の改良工事や、重機の運転ができる有資格者がいれば問題ないとの事であった。野田市では、自治会の負担軽減が検討される中、さらに負担を求めることになること、重機運転の有資格者の確保など大きな課題があるが、道路改良工事は永遠に続くものでもあり維持管理のコスト縮減もでき、何よりも地元と行政との信頼関係が築けるこの事業は、試験的にでもはじめていくべきではないかと考える。

(2) 日向市 日向市駅周辺整備事業について

◇ 日向市の概要と視察地選択の理由

- ①市制施行 昭和26年 4月 1日
- ②人口 60,044人(28,880世帯)
- ③面積 1,631.13km<sup>2</sup>
- ④視察地選択の理由(市政との関連性)
- 野田市は高架化事業と共に愛宕駅、野田市駅周辺整備が進められて総合的なまちづくりを進めていることから、今回駅を核とした地域の宝を活かしたまちづくりによって2017年に先進的まちづくりシティコンペ国土交通大臣賞に輝いた日向市駅の周辺整備事業を参考にしたいと視察をする。

◇ 視察時の状況

- ①視察時間 午前10時30分 ~ 午前12時00分
- ②視察会場 日向市役所4階 第二議員会議室
- ③応対者職氏名 日向市議会議長 黒木高広氏
- 建設部市街地整備課係長 太崎雅彦氏
- 建設部市街地整備課技師 藤本誉宗氏
- 議会事務局庶務書記 宮田有紀氏

◇ 調査事項の概要

日向市の駅を核とした地域の宝を活かしたまちづくりは、駅前に施設を作ることが目的ではなかった。できた施設を基盤にまちづくりを始める事、それを日向市全体の活性化に繋げる事が目的であった。実績のある学識者や専門家を招いて「産、官、学」が一体となったまちづくりであった。また「ひむか」は、杉の国であることから杉にこだわり、駅舎や駅前広場には地域の技術者や最先端のデザイナーの協力によって杉の性能を活かしたつくりを実現させていた。駅前広場には噴水とせせらぎ、芝生緑地をもった公園のようなオープンスペースがあり交流広場となっていた。そこでは年間を通して数々のイベントが

行えるようになっていた。また公共事業では、様々な理由で完成した時には異なる姿に変わってしまうという事が多々ある為、事業進捗と共に2,000回以上の議論をまちづくりが完成するまでにされていたという。また完成した駅舎、駅前広場などを市民が主役となって利活用してもらうために市民ワークショップを行政が中心となって行っていた。更に課外授業も開催し、未来を担う子どもたちはアイデアを出し合い、それが形になり採用され、まちに対する愛着が増したという。日向市駅周辺まちづくりでは、計画当初から合言葉があった。それは・・・「人が主役で、街は舞台」というものであった。市民のまちづくりはまだまだ終わらないが、まちに対する意識が高まり「街を育てる」「街をつかう」事が定着したという。

#### ◇ 所見（市政の課題等に対する実現可能性等）

野田市では、野田市駅と愛宕駅周辺の中心市街地を整備する総合的なまちづくりとして、鉄道を高架化する連続立体交差事業とあわせ、駅前広場整備を進めている。まず、野田市駅では回遊性の向上を図るため特殊道路を配慮して、円滑な交通体系で快適な歩道整備を図り、公園の整地、排水や植栽の整備を行い、居住者及び駅周辺施設利用者の交流及び集いの場を提供する取り組みが進められる。また愛宕駅周辺では駅前広場や駅舎のバリアフリー化や駅周辺の県道つくば野田線、結城野田線などを一体的に整備する計画が進められて、総合的なまちづくりにより快適に移動ができる空間整備を促進し、無電柱化などにより商業空間の景観形成を目指している。野田市駅、愛宕駅の駅舎、駅前広場のデザインは決定されたが、野田市駅においては、市民の声を取り入れながら周辺施設の交流や集いの場の強化と愛宕駅周辺における景観形成の具体的取り組みが必要と感じた。そこで日向市の駅前広場を参考にしてみてもどうかと思う。日向市の駅前広場は「人が主役で、街が舞台」を合言葉にひとづくりまちづくりを行っていた。交流広場には公園のようなオープンスペースがあり、噴水のせせ

らぎや「ひむかの杜」、「木もれ日ステージ」などで構成されており、市民発意のイベントなどで、賑わいを復活させていた。また居心地のよい芝生広場がありイベントの時なども座ってゆっくりと観覧する事が出来るように工夫がされていた。自動車の為の交通広場と人間の為の交流広場が駅を中心に一つになっていた。日本はもとより海外でも例がない空間を「産、官、学」で実現していた。

また、日向市の駅周辺の景観形成は、市民と協働による話し合いで、宮崎県の日本最大級の杉の木を生かした景観を誘導するまちづくりとしておこなわれていた。また、景観形成に関しても子どもたちにもわかるように「たまりちゃんの5つのたからもの」という題目で色々なアイデアが紹介されていた。この本によって子どもから大人までまちづくり、景観形成において理解を示していただけているとの事であった。駅周辺は景観形成により統一感が生まれ、今もなお着々と進化をとげている日向市。野田市の駅周辺まちづくり景観形成においても、この日向市の、行政から市民へ、そして市民が中心となって愛着を持ち続けてくれるまちづくりを是非参考にさせていただければと思う。